

学術フォーラムの概要について（事後報告）

- 1 名称：持続可能な社会の実現に向けた草の根活動の振興－IYGU（国際地球理解年）の試み
- 2 日本学術会議以外の共同主催団体等：
 - ・主催：日本学術会議
 - ・後援：日本地球惑星科学連合、地理学連携機構、日本地理学会、IYGU 広島 RAC
- 3 開催日時：平成28年12月3日（土） 13時00分～17時20分
- 4 開催場所：日本学術会議講堂
- 5 開催趣旨：

人間活動の影響から引き起こされる環境問題を解決にむけ、持続可能な社会を実現するため、Future Earth 計画のもとに学際的研究が強化されてきた。一方 ICSU（国際科学会議）、ISSC（国際社会科学協議会）、CIPSH（国際哲学人文科学協議会）が合同で IYGU を宣言した。このフォーラムでは日本において地球温暖化地球規模の汚染拡大と環境劣化などのグローバルな問題に目を向けていただくためにどのようにしたらよいか、草の根の活動の振興、科学者がどのように向き合うべきかなど、事例を踏まえて議論を行う。
- 6 参加人数：84名
うち講演者等：19名（講演者等14名、スタッフ5名）
- 7 特記事項：
 - 1) フォーラムでは IYGU への理解を深めるための議論が行われ、翌日開催の地理教育分科会では IYGU 関係の内容を追加した提言への道筋をつけるなどの意見交換が行われた。
 - 2) 当日、来日中の IYGU を主導したベンノ・バレン教授の参加が得られ、IYGU の概念と活動を説明し参加者の理解を深めることができた。
 - 3) 参加者のアンケートから見ると、講演内容については『大変良かった』と『まあまあ良かった』との回答が 94%あり、参加者には満足いく内容と考えられる。また、今後の参加の有無についても『参加する』という意思表示が 6割と多かった。